

2016年9月16日
三井化学株式会社

高機能サンレンズ材料 NeoContrast™ を開発

～光波長技術を活用し、圧倒的な鮮やかさを実現～

三井化学株式会社（社長：淡輪敏）は、光波長調整技術を活用した「NeoContrast™」をサンレンズ材料向けに開発し、欧米向けをターゲットに販売を開始いたしました。



当社は、視力矯正プラスチックレンズ材料において、従来の高屈折レンズ材料「MR™ シリーズ」に加えて低屈折レンズ材料「RAV7™ シリーズ」、中屈折レンズ材料を取りそろえることで、フルラインアップ化を進めて参りました。更に、目の健康や快適さを目指し、有害な短波長光をカットする光波長調整技術を活用した「UV+420cut™」を2014年に発売致しました。

今般、医療用レンズの開発・製造を行う株式会社ホブニック研究所（代表：高木 俊治、福井県鯖江市）と当社との共同開発にて光波長調整技術を活用した「NeoContrast™」を開発いたしました。当製品は、選択的にまぶしい光をカットする機能を持ち、見え方を改善するレンズ材料であり、従来の染色レンズ、調光レンズ、偏光レンズ等のサンレンズに適用することで、従来に無い圧倒的な鮮やかさをもたらし、サンレンズのプレミアム化、差別化を実現致します。

三井化学のビジョンケア材料事業は、レンズ材料の高機能化、光波長制御技術、その他周辺技術を通じた「Quality of View」の向上に取り組んでおり、今後も新たなレンズ材料の開発を進めてまいります。

高屈折率レンズ材料 MR™
UV+420cut™

<http://jp.mitsuichem.com/special/mr/index.htm>
<http://uv420cut.com>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部（TEL：03-6253-2100）